

平成30年度 第1回 福井県障害者施策推進協議会 次第

日時：平成30年8月9日（木）

9：50～10：40

場所：県庁2階 中会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- (1) 平成30年度障害者福祉施策の概要
- (2) 福井県共生社会条例普及啓発事業の取組み
- (3) ヘルプマークの導入

4 閉 会

- | | |
|-----------|---|
| 【資料 No.1】 | 平成30年度障害者福祉施策の概要 |
| 【資料 No.2】 | 福井県共生社会条例普及啓発事業の取組み（参考資料あり） |
| 【資料 No.3】 | ヘルプマークの導入 |
| 【参考資料】 | 「第6次福井県障害者福祉計画」とその概要 |
| 【参考資料】 | 「障害のある人もない人も幸せに暮らせる
福井県共生社会条例」パンフレット |
| 【参考資料】 | 国体・障スポ パンフレット |

第6次福井県障害者福祉計画（30年度～34年度）における障害者福祉施策について

基本理念		「障害の有無によって分け隔てられることなく、互いに支え合い、生きがいのある暮らしができる共生社会の実現」			
基本目標		1 共に生きる社会の実現			
重点施策	施策	30年度の取り組み概要			
		30年度目標		34年度末目標	
県民理解の促進	① 共生社会条例の県民への普及啓発	共生社会条例の理念等を周知し、官民一体となった共生社会実現にむけた意識啓発のためのセミナーを開催	セミナーの開催 (6/2開催 500人)	セミナー等の開催	毎年度実施
	② 障害のある人に関する標章の普及啓発	ヘルプマークやほじょ犬マーク、障害のある人のための国際シンボルマークなど障害のある人に関する様々なマークの県民の理解を促進	ヘルプマーク	導入 (9月中)	
障害のある人の権利擁護	① 成年後見の利用促進	「成年後見センター」を設置し、障害者の権利擁護を図る。 ・成年後見センターの設置(県手をつなぐ育成会に委託) ・意思決定支援にかかる「成年後見支援員」のスキルアップ研修	5/12センター設置		
障害のある人等の声の反映	① 障害のある人の発言の場の拡大	・条例の理念を広く県民に周知する出前講座を実施 ・県内各地区においてタウンミーティングを開催し、当事者との意見交換を行う。	出前講座 タウンミーティング (8月中)	年100回 年4回	出前講座 延べ400回
交流の推進	① 相互交流の推進	障害者施設において障害者と児童生徒との体験交流を行い、幼少期から障害を正しく理解し、心のバリアフリーを学ぶ。	入所施設における体験交流	27施設	入所施設における体験交流 毎年度実施

第6次福井県障害者福祉計画（30年度～34年度）における障害者福祉施策について

基本理念	「障害の有無によって分け隔てられることなく、互いに支え合い、生きがいのある暮らしができる共生社会の実現」
------	--

基本目標	2 自立した生活・自己実現の支援
------	------------------

重点施策	施策	30年度の取り組み概要	目標数値等 (30年度末見込)		34年度末目標	
			養成研修修了者	140人 (累計1,200人)	手話通訳 要約筆記者等 養成数	2,000人
意思疎通支援 の充実	① 意思疎通支援手段の確保	・手話通訳、要約筆記者等の講座等の実施	養成研修修了者	140人 (累計1,200人)	手話通訳 要約筆記者等 養成数	2,000人
	② 意思疎通支援の充実	・手話ミニ講座の開催 ・多くの県民が参加する大会等で、ICT(情報通信技術)機器を活用した文字情報 による意思疎通支援の充実	手話ミニ講座 ICT活用	年50回 20回		
	③ 行政情報のバリアフリー化の推進	県庁受付に意思疎通支援機器(タブレット)を設置				
スポーツの振興	① 障害者スポーツの振興	・障害者トップアスリートに対する国際大会出場費等への支援 ・「チームふくい」アスリート協会練習会の開催 ・総合型地域スポーツクラブにおける障害者対応の教室の開催	支援選手数 強化研修会 スポーツクラブ数	12名 月3回 5クラブ (累計12クラブ)	全スポーツ クラブで実施	27施設

第6次福井県障害者福祉計画（30年度～34年度）における障害者福祉施策について

基本理念	「障害の有無によって分け隔てられることなく、互いに支え合い、生きがいのある暮らしができる共生社会の実現」
------	--

基本目標	3 ライフステージに応じた生活支援
------	-------------------

重点施策	施策	30年度の取り組み概要	目標数値等 (30年度末見込)	34年度末目標	
発達障害のある人への支援の充実	① 発達障害のある人の支援体制づくり	福井県方式支援ツール「子育てファイナルふくいっ子」を活用した保育士や教師を対象とした研修実施			
障害のある子どもの地域療育体制の整備	① 県内各地域における療育の質の確保	保育所等訪問支援や障害児相談支援などの地域支援に取り組む児童発達支援センターの設置	児童発達支援センター設置市町数 5市	児童発達支援センター設置市町数 17市町	
医療的ケア児への支援の確保	① 医療的ケア児への在宅支援体制の構築	医療的ケアを要する在宅の障害児が地域で適切な支援を受けられるよう、自治体において保健・医療・福祉等の連携を図るため、協議会の開催やモデル事業の実施などにより、小児在宅医療の体制づくりを進める。			
重症心身障害児者への支援の充実	① 重症心身障害児者の受け入れ拡大	重症心身障害児者の在宅介護を行う家族の負担軽減のため、医療的ケアが可能な事業所を増やす。	事業所数 5事業所 (累計27事業所)		
就労支援の充実	① 障害者賃金の向上	<ul style="list-style-type: none"> セルブ商品見本市、セルブ商談会を開催し施設外就労および受注促進 県立学校等におけるセルブフェア開催の拡大 工賃が県内平均を下回る事業所へ中小企業診断士等を派遣することに より経営改善、賃金向上を図る 障害者施設職員のふくい圏芸カレッジ受講を支援 マルシェ(農産物等販売会)の開催 農業に従事している就労支援施設に農業アドバイザーの派遣 	セルブ商談会 セルブフェア 派遣施設 受講施設 マルシェ アドバイザー派遣	1回 年200回 15施設 10施設 年50回 年12施設	(A)型事業所平均賃金) (B)型事業所平均工賃) 全国10位以内 全国1位

第6次福井県障害者福祉計画（30年度～34年度）における障害者福祉施策について

基本理念	「障害の有無によって分け隔てられることなく、互いに支え合い、生きがいのある暮らしができる共生社会の実現」
------	--

基本目標	4 心の健康の推進
------	-----------

重点施策	施策	30年度の取り組み概要	目標数値等 (30年度末見込)		34年度末目標
			セミナー開催回数	25回	
心の健康づくりの推進	① 心の健康づくり	自殺予防キャンペーン、高校生や教員対象にメンタルヘルスセミナー、ストレスチェックの実施	セミナー開催回数	25回	

第6次福井県障害者福祉計画（30年度～34年度）における障害者福祉施策について

基本理念	「障害の有無によって分け隔てられることなく、互いに支え合い、生きがいのある暮らしができる共生社会の実現」
------	--

基本目標	5 安全・安心な生活環境の整備
------	-----------------

重点施策	施策	30年度の取り組み概要	目標数値等 (30年度末見込)		34年度末目標
			ノンステップバスの導入	9台	
障害に配慮したまちづくりの推進	① 公共交通機関等のバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両のバリアフリーとして、バス事業者にノンステップバスの導入を支援 ・高齢者等の足の確保、過疎地域における移動手段対策として、コミュニティバスの運行に対し支援 ・乗継拠点となるバス停・駅での利便性向上のための施設整備として、スロープ等のバリアフリー整備に対し支援 	ノンステップバスの導入	9台	
	② 建築物等のバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県合同庁舎に乗降介助依頼用インターホンを設置 ・県健康福祉センター、県社会福祉センターに介助依頼用インターホン等を設置 ・トリムパークかなづのバリアフリー改修 (体育館、スロープ、体育館内階段前後や経路に点字シート設置) ・道路の歩行空間整備として、歩道や点字ブロックを整備 			
	③ 心のバリアフリーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・500㎡以下の小規模商業施設のバリアフリー整備に対し助成 	整備箇所数	80か所	
防災対策の推進	① 障害のある人の避難体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・障害種別ごとに、発災時から周知、避難開始、避難所での活動等について検討会議を開催 			

福井県共生社会条例普及啓発事業の主な取組み

1 共生社会づくり推進セミナー

条例の理念等を市町や経済団体等の幹部職員に向け周知、啓発を行い、官民一体となった共生社会の実現に向けた活動の推進と気運の醸成を図った。

- ・日 時 平成30年6月2日（土）
- ・会 場 福井商工会議所 コンベンションホール
- ・内 容 条例の概要説明（県健康福祉部長）
講演 吉川 公章 氏（福井県立大学看護福祉学部教授）
- ・参加者 約500名（福祉、経済団体、教育関係、行政、一般）

2 条例普及出前講座

広く県民向けに職員による出前講座（約10分～30分程度）を実施
平成30年7月末現在で約50回実施済み（今年度年間目標は100回）

3 手話普及のためのミニ講座

広く一般県民向けに、聴覚障害や手話への理解を目的とした、入門編としてのミニ講座（約1時間）を実施

平成30年7月末現在で約10回実施済み（今年度年間目標は50回）

4 タウンミーティング

共生社会の実現に向け、広く県民の方々からご意見をいただく場を設定

- ・奥越地区 平成30年8月11日（土） 会場：多田記念大野有終会館
- ・福井地区 平成30年8月12日（日） 会場：福井市アオッサ
- ・嶺南地区 平成30年8月24日（金） 会場：敦賀市福祉総合センター
- ・丹南地区 平成30年8月25日（土） 会場：サンドーム福井

5 体験交流の実施

障害者施設において、障害者と児童・生徒との体験交流を行い、学童期から障害を正しく理解し、心のバリアフリーを学ぶ

- ・対象施設 県内27入所施設
- ・主な行事 夏祭り、小学生との買い物交流、地元小学校の舞台発表観覧など

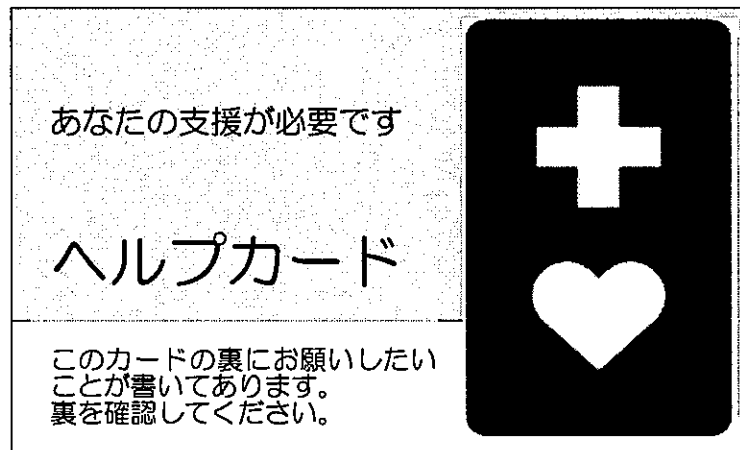
ヘルプマークの導入

国体・障スポ開催前までに、ヘルプマークを作成、配布し、来県される障害のある方々にも気持ちよく滞在していただけるよう、広く県民にもお知らせしていく。

- 1 配布時期 平成30年9月中旬
- 2 作成個数 1,000個（カードタイプで作成予定）

【本県デザイン案】

（表面）



（裏面）

姓 名	血液型（型）
生年月日	年 月 日
住 所	
緊急連絡先	
かかりつけ 医療機関	
お願いしたいこと	

- 3 配布対象者 義足、人工関節使用者、内部障害者、難病患者、妊娠初期等援助や配慮を必要としている人
- 4 配布場所 各健康福祉センター、希望する障害者団体で配布
遠隔地の配布については、郵送にて対応予定
- 5 その他 平成30年7月現在 34都道府県で導入済